



赤ちゃんパンダ「優浜」誕生!

この夏、和歌山生まれのパンダの良浜がまたまた赤ちゃんを出産。動物たちの楽園アドベンチャーワールドが笑顔に包まれています!



アドベンチャーワールド
住所/西牟婁郡白浜町堅田2399 電話/0570-064481
http://aws-s.com/



愛嬌たっぷりに竹をかじる「永浜と梅浜」。1頭が1日に食べる竹の量は約20kg。好き嫌いがあるため時折竹の種類を変える。パンダは意外とグルメ?

母に抱かれすくすく、「成長楽しみ」と飼育員

日本有数の美しい海水浴場、白良浜や日本最古の温泉、崎の湯、さらには空港があるという絶好のロケーションの白浜。抜けるような青空のもと、ライオンやシマウマがゆうゆうと暮らすアドベンチャーワールドに今年の8月、赤ちゃんパンダ「優浜(ユウヒン)」が誕生した。お母さんは和歌山生まれの「良浜(ラウヒン・12歳)でお父さんは「永明(エイメイ・20歳)」。可愛い「優浜」の姿をひと目見ようと連日多くの人が訪れている。「日々大きくなる赤ちゃんパンダの世話をするのは緊張感もありませんが楽しみでもありま

穏やかな白浜の気候 動物たちものびのび

アドベンチャーワールドの広大な敷地には、140種類1400頭の野生動物が、自然に近い状態で暮らす。その姿を間近に見られるサファリワールドやイルカのマリンスライブなど、「人間(ひと)と動物と自然とのふれあい」をテーマに、園内には多様なエリアが広がり、体験メニューも豊富。「毎年来てくださるリピーターも多いため、シヨーや施設を常に変えていくよう心がけています」と業務課長の高濱光弘さん。6月には、ふれあい広場のサルコーナー「モンキー×モンキー」をリニューアルした。「来てよかった、と思ってもらえるよう、動物の見せ方やふれあいの方法などこれからも工夫し続けていきたいですね」。

す」とパンダ担当の飼育員、陸門麻衣さん。スタッフは交替しながら24時間態勢で成長を見守っている。現在飼育中のパンダは「優浜」を含めて計9頭、故郷中国を除くと世界一の頭数を誇る。赤ちゃんパンダは菌に弱く、衛生面で気をつけようが、「お客さんの喜ぶ顔を見ると、そんな苦労も吹き飛ばす」と、すでに中国に里帰りした和歌山生まれのパンダは4頭。うち1頭がお父さんになり、3頭がお嬢さん探しをしている。



母親の良浜に抱かれる赤ちゃんパンダの優浜。白黒の毛もようやく生え揃い、順調にすくすくと育っている。(9月19日撮影/アドベンチャーワールド提供)

いまや全国的にもパンダの町として有名な白浜町。海に面し気候も空気もいい。そして温かいスタッフに愛されて自由奔放に暮らす動物たち。そんなかれらを見ているとこちらまで優しくなれるから不思議だ。



「飼育員さん、がんばってね!」元気に育つことを祈っています。そんな応援が何よりの励み」と話すパンダ担当の陸門さん。



サファリワールドで出くわしたシマウマ。白浜の温暖な気候のもと、どこかのびのびと、気持ちよさそうに暮らしている。

復興編

今年9月で和歌山に甚大な被害を与えた台風12号から1年。確実にそして迅速にその復興は進んでいます。



復旧工事が進む滝尻、熊野古道館付近。

台風12号の被害から9月で1年。各地で犠牲者を悼む慰霊祭や復興祈願式典が催され、災害の教訓を後世に伝える重要性を再認識しました。また全国から多くの義援金をいただき、さらに個人や企業、各種団体の皆さまに復興のためのボランティアなどのご助力をいただき誠にありがとうございます。大規模な土砂崩れなどのため至る

所で寸断した国道311号は順調に復旧作業が進み、現在通行への影響はほとんどありません。また浸水で被災した世界遺産の拠点施設「熊野本宮館」は、約1.5メートルかさ上げし年内オープンを目指し緊急工事を継続中です。熊野古道や温泉郷も元気にがんばっていますので、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。